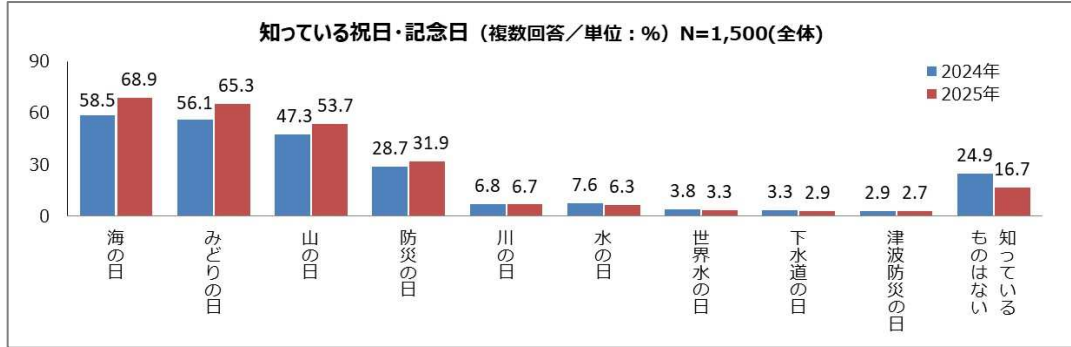


## Q.知っている祝日・記念日は？（9択＋知っているものはない）

### ◇水に関する記念日の認知上がらず

水や自然にかかわる祝日・記念日の認知については、祝日である「海の日（7月第3月曜日）」（68.9%）、「みどりの日（5月4日）」（65.3%）、「山の日（8月11日）」（53.7%）の認知率が総じて高く、いずれも昨年を上回る結果となりました。祝日以外では、「防災の日（9月1日）」（31.9%）の認知率が抜けて高く、数値も昨年を上回ったのに対し、「水の日（8月1日）」（6.3%）をはじめ「世界水の日（3月22日）」（3.3%）、「下水道の日（9月10日）」（2.9%）といった水に関する記念日はいずれも一桁台で、且つ昨年から減少しています。

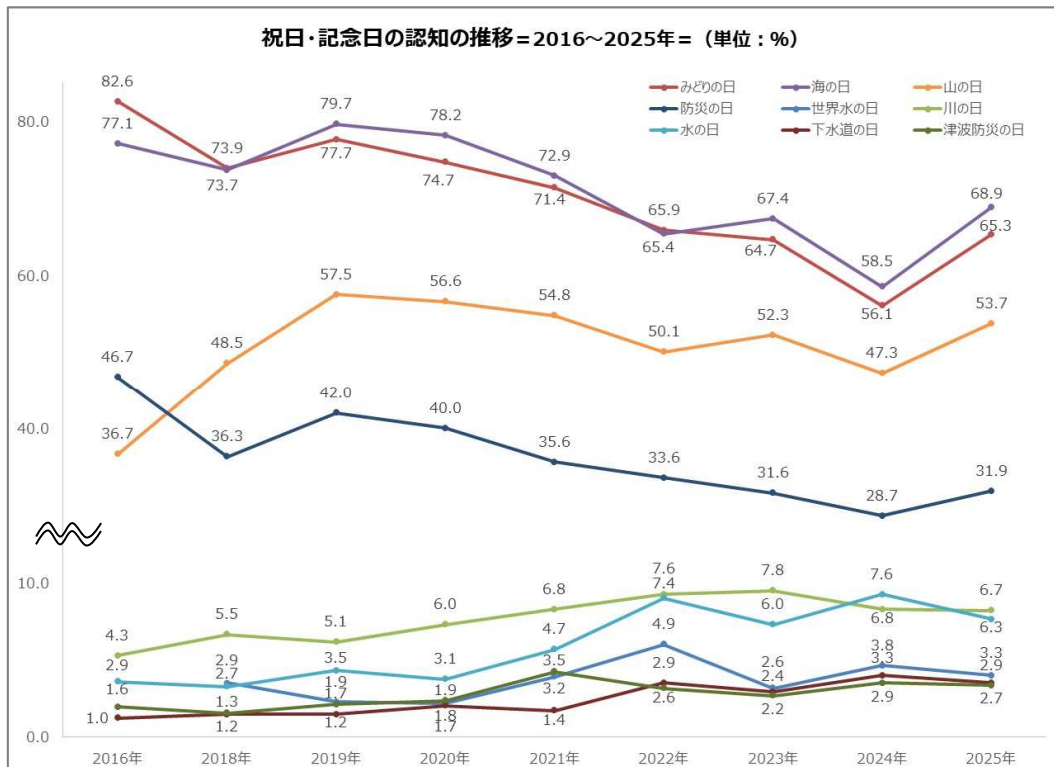


### 沖大幹先生による解説 ～Oki's View～ ④

#### 【水の日認知度】

水の日認知度が伸び悩んでいる。史上最高の7.6%を記録した2024年に引き続きさらに認知度が伸びるか期待していたが、今年はやや下がって6.3%であった。それでも2023年の6.0%よりは高いが、2022年の7.4%を下回っており、当初2016年の4.3%からの伸びに比べるとここ数年は認知が広がっていない。

3月22日の世界水の日3%前後、7月7日の川の日7%前後、9月10日の下水道の日は3%前後でそれぞれ伸び悩んでいるのを見ると、関連する記念日の乱立が認知の広がりを阻んでいるようにも想像されるが、それぞれの事情もあり、行政の所管のような統一は難しいだろう。祝日ではないのに高い認知度を誇る9月1日の防災の日も、長期的には2016年の46.7%から2024年の28.7%（今年は31.9%）まで長期低下傾向にある。そうした傾向は祝日であるみどりの日や海の日でも同様なので、祝日で記念行事が行われれば認知が広がるというものでもないのかもしれない。〇〇の日、が増え、祝日も増えた結果、祝日や記念日に対するわたしたちの関心そのものが薄れていると考えられる。



※2017年は未調査